マルチメディア衛星情報システム“MEDIABIRD”の適用事例

武田公咲*　石川康雄***
福田　隆*
栗原まり子**

要　旨

近年のイントラネットの普及により，企業内ネットワークを流れるデータ量は年々増大し，取り扱うコンテンツも多様化し，さらには全国規模にまたがる広域化が進んでいる。また，通信インフラには，高速大容量，広域同報性，さらには低コストな料金体系が強く求められている。このニーズにこたえ，企業内ネットワークの新しいインフラとして注目されているのが衛星データ通信である。三菱電機が1999年に発表したマルチメディア衛星情報システム“MEDIABIRD”は，宇宙通信㈱が提供する“DirecPC(注)サービス”を基盤に企業が衛星情報システムを導入する際に必要となるプロダクツとサービスを体系化し整備したソリューション型の製品である。

本稿では，MEDIABIRDが提供するソリューションとその特長を，以下の代表的な適用事例を用いて解説する。

(1)　㈱ガリバーインターナショナル納め中古車販売支援システム“ドルフィネット”(㈱インテック経由納入)

静止画を含むマルチメディアデータベース情報を全国広域店舗に一斉配信するシステムである。

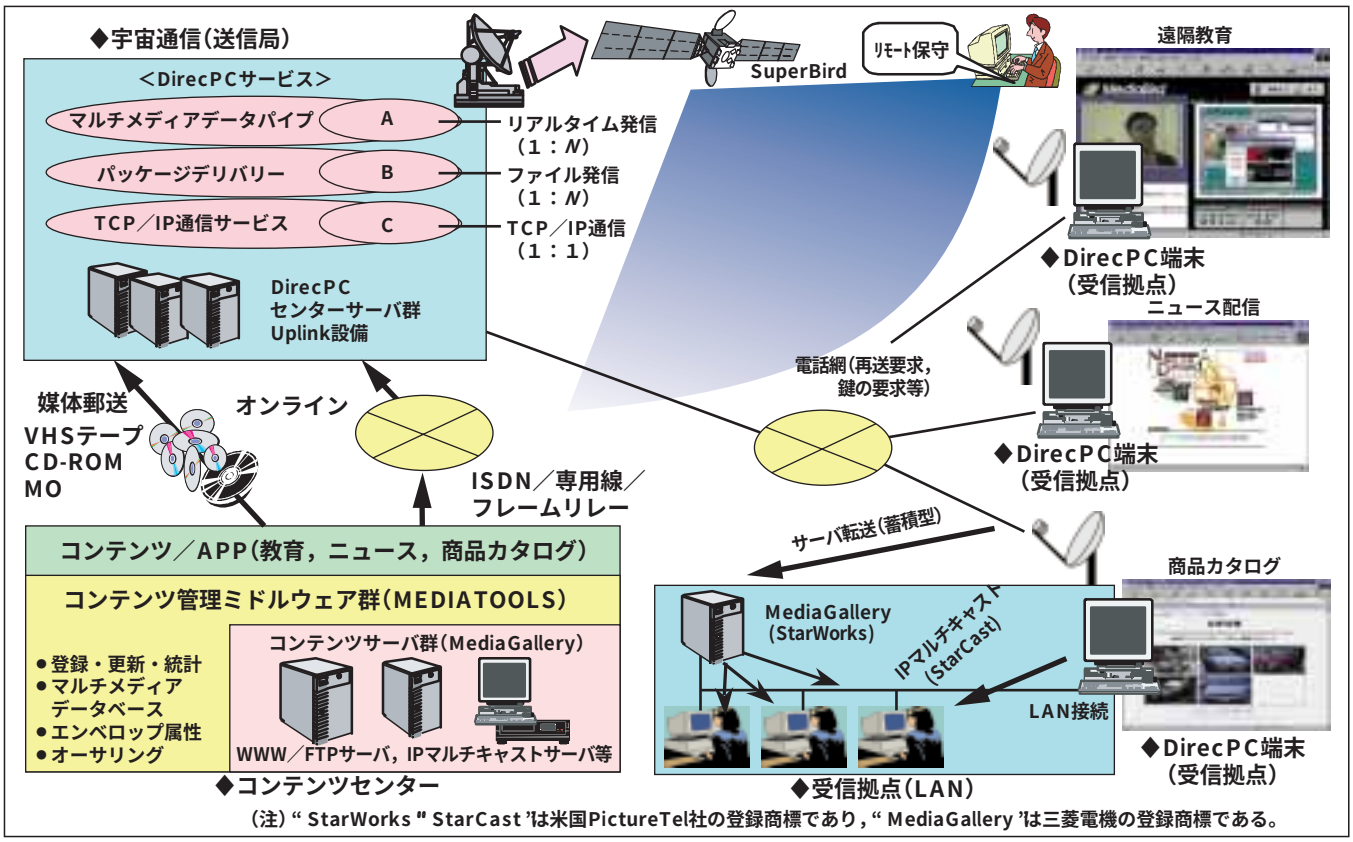
(2)　先進的教育用ネットワークモデル地域事業(学校における複合アクセス網活用型インターネットに関する研究開発)のシステム

WWW，E-Mail等によるインターネットアクセスの高速化を実現したシステムである。

(3)　東洋証券㈱納め市況情報配信システム（㈱インテックと三菱電機との共同開発）

音声，イメージ画像データをリアルタイムにマルチキャスト(広域同報)配信するシステムである。

(注)“DirecPC”は米国ヒューズネットワークシステム㈱の商標であり，DirecPCサービスは宇宙通信㈱の提供する高速データ通信サービスである。



(注)“StarWorks”“StarCast”は米国PictureTel社の登録商標であり，“MediaGallery”は三菱電機の登録商標である。

マルチメディア衛星情報システム“MEDIABIRD”

MEDIABIRDは，DirecPC３大サービス(パッケージデリバリー，TCP／IP通信，マルチメディアデータパイプ)に対応して，マルチメディア衛星情報システムを構築する際に必要となる構成要素をプラットフォーム製品(MediaGallery，DirecPC端末等)，運用管理システム(コンテンツ管理ミドルウェア MEDIATOOLS)，アプリケーション(遠隔教育，ニュース配信，商品カタログ)，サービス(システム構築・展開，保守，ヘルプデスク等)の４層に体系整備して提供しているソリューション型の製品である。

*三菱電機㈱情報システム製作所　**同情報技術総合研究所　***宇宙通信㈱